

平成20年技術革新と労働に関する実態調査

- VDT作業における労働衛生管理とIT機器を活用した安全衛生管理に関する実態調査 -

個人票

厚生労働省

この調査の結果は統計目的に用いられるだけで、個々の内容については秘密を守り他にもらすことはありませんので、ありのままをお答えください。

都道府 県番号	一連番号	労働者 番号
1	2	3

〔回答上の注意〕

- 1 この調査票は全部で6ページあります。コンピュータ機器の解説はこのページの裏面にありますので、記入に当たって参照してください。
- 2 黒または青インクのペン又はボールペンで記入してください。
- 3 回答は特にことわりのない限り、該当する番号に**1つだけ**、○をつけてください。
(複数回答の可能性のあるものは、回答欄が のように網かけとなっています。)
- 4 特にことわりのない限り、平成20年10月31日現在の状況について記入してください。
- 5 過去に他の事業所で勤務されたことのある方や複数の事業所に勤務されている方についても、今回当調査票の配付を受けた事業所に関する状況についてのみ回答してください。

問1 あなたの性、年齢をお答えください。

	4		5
性	男 1	年齢	29歳以下 1
	女 2		30～39歳 2
			40～49歳 3
			50～59歳 4
			60歳以上 5

問2 あなたは、現在、どのような就業形態で雇用されていますか。

一般社員（フルタイム勤務で雇用期間の定めのない方）	6 1
パートタイム労働者（一般社員より1日の所定労働時間が短い又は週の所定労働時間が短い方）	2
派遣労働者（労働者派遣法に基づく人材派遣会社から派遣された方）	3
上記以外の方	4

（注）契約社員（フルタイム勤務で雇用期間の定めのある方）は「上記以外の方」に含まれます。

問3 あなたの職種をお答えください。

（複数の職種に該当する場合は、勤務時間が最も長い職種1つに○をつけてください。）

管理職（課長相当職以上）	7 1
情報処理職（システムエンジニア、プログラマー、システム管理者、ネットワーク管理者など）	2
情報処理職以外の専門・研究・技術職（看護師、研究者、技術者など）	3
事務職（庶務、人事、会計、調査、企画、営業販売関連事務など）	4
販売・サービス職（販売店員、販売外交員、接客員、給仕員など）	5
上記以外の職種	6

問4 あなたは、仕事上でコンピュータ機器（携帯電話を含みません。以下同じ。）
を使用していますか。

使用している	1
使用していない	2

(1) あなたは仕事で、どのようなコンピュータ機器を使用していますか。
(該当する番号すべてに○をつけてください。)

デスクトップ・ノート型パソコン（事務所でのみ使用しているパソコン）	1
携帯情報端末（携帯パソコン、PDA）	2
POS機器	3
ハンディーターミナル	4
その他のコンピュータ機器	5

(注1) 複数の機能を有している場合には、該当するものすべてを選択してください。
(注2) 「その他のコンピュータ機器」は画面とキーボードなどの入力装置があるコンピュータ機器に限ります。

(2) そのうち、最もよく使用しているコンピュータ機器を1つ選び、番号を下の枠内に記入してください。

(問5にお進みください。)

コンピュータ機器を使用していない方は、これで質問は終わりです。
ありがとうございました。

(仕事でコンピュータ機器を使用している方は、問5以降も引き続きお答えください。)

問5 (1) あなたが、コンピュータ機器を使用して行っている仕事の内容はどのようなものがありますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

文書や表等の作成、編集、データ分析等の業務	01
データ、文章等の簡単な入力作業（文書や表等の作成、編集、データ分析等に伴うものを除く）	02
データの検索、照合、追加、修正	03
業務連絡や作成した資料等の電子メールでの受信、送信	04
窓口等での金銭出納業務	05
コールセンター等における受注、予約等の業務	06
プログラミング業務	07
CAD業務（CADへの単純入力を除く）	08
制御装置、交通等の監視の業務	09
携帯情報端末（携帯パソコン、PDA）、POS機器（持ち運びできるものに限る）、ハンディーターミナルの操作	10
その他	11

(2) 回答したなかで、コンピュータ機器を使用して最もよく行う仕事を1つ選び、番号を右の枠内に記入してください。

- 問6 職場でのコンピュータ機器の導入等（機器やソフトの導入拡大や高度化、ネットワーク化による使用方法の変化も含みます。）にともない、あなたの仕事に変化がありましたか。
（項目ごとに、該当する番号1つに○をつけてください。）

	は	い	いいえ	どちらともいえない
勤務時間が弾力化（フレックスタイムなど）された	1		2	3
データ、文章等の入力の仕事が増えた	1		2	3
機器を使用するための知識、技能が必要となった	1		2	3
専門性や判断が必要な仕事が増えた	1		2	3
仕事の裁量の程度が増えた	1		2	3
業務の処理スピードが速くなった	1		2	3
業務の繁閑が大きくなった	1		2	3
来客や営業先等への訪問回数が減った	1		2	3
自宅で業務を行うことが可能になった	1		2	3
精神的緊張が増すようになった	1		2	3

- 問7 あなたは、コンピュータ機器を使った仕事にスムーズに適応できていますか。

	23
充分適応できている	1
ある程度適応できている	2
あまり適応できていない	3
まったく適応できていない	4
どちらともいえない	5

- 問8 あなたは、仕事でコンピュータ機器を使用することに、精神的な疲労やストレスを感じていますか。

	24
たいへん感じている	1
やや感じている	2
あまり感じない	3
まったく感じない	4
どちらともいえない	5

（以下、次ページよりVDT作業についてお伺いします。）

VDT（Visual Display Terminals）機器とは、文字や図形等の情報を表示する出力装置（液晶ディスプレイ、ブラウン管）、入力装置（キーボード、マウス、スキャナー等）で構成される機器のことをいいます。

具体的には、パソコン、モバイルなど携帯用情報通信機器、監視用の大型表示パネル、店舗などで使用するハンディターミナル、POS機器などのディスプレイを有する情報機器を指します。

VDT作業とは、これらの機器を使用して、データの入力・検索・照合等、文章・画像等の作成・編集・修正等、プログラミング、監視等を行う作業をいいます。

問9 過去1か月間（平成20年10月1日から31日まで）における、あなたの仕事でのVDT作業の状況についてお答えください。

(1) 平均的作業頻度

(2) 労働日1日当たりの平均VDT作業時間 (a)

毎日使用している	1	25
週に3、4回	2	
週に1、2回	3	
ごくたまに使用している	4	

1時間未満	1	25
1時間以上2時間未満	2	
2時間以上4時間未満	3	
4時間以上6時間未満	4	
6時間以上	5	

(注) 労働日には、VDT作業を行わない日も含まれます。

問10 過去1か月間（平成20年10月1日から31日まで）における、あなたの仕事以外での1日当たりのVDT機器の平均使用時間はどのくらいですか。

1時間未満	1	4時間以上6時間未満	4
1時間以上2時間未満	2	6時間以上	5
2時間以上4時間未満	3		

問11 あなたは、仕事でのVDT作業で、身体的な疲労や症状を感じることはありませんか。

ある	1	→ VDT作業による疲れや症状はどのようなものですか。 (該当する番号すべてに○をつけてください。)
ない	2	

頭痛	1	背中	5
目の疲れ・痛み	2	腰	6
首、肩のこり・痛み	3	足	7
腕、手、指の疲れ・痛み	4	その他	8

問12 あなたが、仕事でVDT作業を最もよく行う場所はどこですか。
(複数の場所でVDT作業を行う場合は、VDT作業時間が最も長い場所1つに○をつけてください。)

事業所内	事務室内	1	30
	その他の場所（売場、倉庫など）	2	
事業所の外（顧客先など）や移動中		3	
自宅		4	

問13 問12で回答した場所（仕事でVDT作業を最もよく行う場所）の作業環境についてお答えください。

(項目ごとに、該当する番号1つに○をつけてください。)

温度	暑すぎる	1	31
	適当	2	
	寒すぎる	3	

採光 照明	明るすぎる	1	32
	適当	2	
	暗すぎる	3	

湿度	乾燥しすぎる	1	33
	適当	2	
	湿っぽすぎる	3	

レイ アウト	使いにくい	1	34
	少し使いにくい	2	
	適当	3	

騒音	うるさい	1	36
	少しうるさい	2	
	気にならない	3	

机 作業台 いす	使いにくい	1	36
	少し使いにくい	2	
	適当	3	

換気	悪い	1	37
	少し悪い	2	
	適当	3	

作業 空間	狭すぎる	1	38
	少し狭い	2	
	適当	3	

問14(1) あなたが、仕事で V D I 作業を行う場合に、V D I 作業の中断を行っていますか。

行っている	1	どのような方法で作業の中断を行っていますか。 (該当する番号すべてに○をつけてください。)
行っていない	2	

連続作業の間に10～15分程度の作業休止時間 ^(注1) をとっている	1
V D I 作業中に1～2分程度の小休止 ^(注2) をとっている	2
V D I 作業の途中で他の作業を組み込んでいる	3
上記以外の方法で中断を行っている	4

(注1)：「作業休止時間」とは、V D I 作業での目や手腕などへの負担による疲労を防止することを目的とするもので、連続作業後V D I 作業を中止し、遠くの景色を眺めたり、軽い運動を行ったり、他の業務を行ったりするための時間をいいます。

(注2)：「小休止」とは、一連続作業時間の途中でとる1分～2分程度の作業休止のことをいいます。

V D I 作業を中断できない理由をお答えください。
(該当する番号すべてに○をつけてください。)

作業休止の制度または指導がないため	1
V D I 作業が短時間なので	2
中断しなくても疲労を感じないから	3
忙しくて中断できないから	4
その他	5

(2) 過去1か月間(平成20年10月1日から31日まで)であなたが仕事で V D I 作業を行った日のうち、10分以上の作業休止時間をとらずに連続して作業を行った時間は、最長でどのくらいですか。

30分未満	1
30分以上1時間未満	2
1時間以上2時間未満	3
2時間以上4時間未満	4
4時間以上	5

問15 あなたは、仕事での V D I 作業に関する適正な作業姿勢・作業時間、健康への影響等の教育を職場で受けたことがありますか。

受けたことがある	1
受けたことがない	2

問16 あなたは、過去1年間（平成19年11月1日から平成20年10月31日まで）に会社が実施するVDT健康診断を受けましたか。

VDT健康診断とは、VDT作業従事者の健康管理のために、50cm又は30cm視力検査、眼の調節機能検査や指・手・腕等の運動機能の異常の有無の検査など特別な検査項目が盛り込まれた健康診断をいいます。
VDT健康診断が単独に実施されていない場合でも、会社が実施する定期健康診断（視力は5m検査のみ）の項目に、これらの特別な検査が含まれている場合には、VDT健康診断が実施されたものとします。

44

受けた	1
受けなかった	2

 → 受けなかった理由をお答えください。

45

VDT健康診断が実施されなかった	1
VDT健康診断の受診対象者ではなかった	2
多忙で受けられなかった	3
受診する必要性を感じなかった	4
その他	5

問17 あなたは、職場でのVDT作業環境で改善してほしいことはありますか。
（主なもの4つ以内で該当する番号に○をつけてください。）

46

改善してほしいことがある	作業場所に関する対策	適切な照明及び採光の確保	01	4つ以内
		温度、湿度の空調設備等による調整	02	
		十分な作業空間の確保やレイアウトの適正化	03	
		机、いす、床の改善（機器の配線の整備によるつまずき等の防止）	04	
	コンピュータ機器等に関する対策	画面の文字や図形のちらつき及び文字の大きさの改善	05	
		画面に入射することによる画面の見にくさ（グレア対策）	06	
		キーボード、マウスなどの入力装置の改善	07	
		機器やプリンタなどからの騒音の防止	08	
	その他	VDT作業の上限時間・休止時間の取り決め等	09	
		VDT健康診断の実施とその結果に応じた保健指導などの措置	10	
		高齢者に対する配慮	11	
		障害等を有する労働者に対する配慮	12	
		その他	13	
改善してほしいことはない		14		

以上で、質問はすべて終わりです。
おそれいりますが、記入もれがないかももう一度ご確認ください。

（封筒に入れ、封をして事業所の担当者にお渡しください。）

—ご協力ありがとうございました—